

## 知っておきたい海辺のルール

世界各国で人気急上昇中のスノーケリングは老若男女楽しむ事の出来るアクティビティーの一つだといえます。ですが、どんなに長距離を泳げても、どんなにスキndaイビングが得意でも、そこには思いも寄らない危険がある事も覚えておかななくてはなりません。海に住む生物の中には、鋭い歯や棘を持つものもいます。せっかくの楽しい海辺のひと時が台無しになる事がないように少しの知識を持つ事も重要な事です。ここでは最低限覚えておきたい海でのルールをご紹介します。

### 1) 餌付けをしない

レイクルーでは、海中生物に餌付けをしない、触れないなどを推奨していますが、これらは海中生物から被害を受けないという事に繋がります。餌付けは生態系を変えてしまう事も考えられますが、その他に餌に向かってくる小さな魚達も時には凶暴になり、指や耳たぶなどを餌と勘違いして向かって来る事もあるからです。

### 2) 相手を知り生態を知る

一見、ウニのように見える「ガンガゼ」は夜行性であるが、日中でも良く目にします。不意に手や足を着いてしまうと、その細長い棘が刺さり折れ込んで激痛が走り、赤く腫れ上がります。大人しそうな魚にもその背びれには猛毒があり激痛や腫れを伴う事もあるのです。決してちょっかいを出したり、触ったりしてはいけません。

### 3) 生物の棲家

サンゴの多いマーシャル諸島では、上部が平らなハマサンゴなどがありますが、休憩ついでにその上に乗る事は避けなくてはなりません。何もなく平らに見えるサンゴでも良く見ると小さなサンゴが成長しようと根付いていたり、小さな穴には生物が棲家としている事があります。我々人間は海中生物の世界にお邪魔しているのです。

### 4) 装備によって予防する

お手軽なスノーケリングとはいえ、ウェットスーツ、または厚手のTシャツ、ブーツなどを着用し被害を防ぐ事も出来るのです。また強い日差しの照り返しをそのまま受ける事も避けられます。暖かい日でも水中では体が冷えるため予防は大切です。体にあったご自分の器材の使用をおススメいたします。

### 5) 無理のない計画を

スノーケリングは息ごらえを必要とするスキndaイビングではありません。安全の為にライフジャケットを着用し、休息は十分にとり無理のない計画を立てましょう。水分補給も忘れてはいけません。

### 6) もしも、被害にあったら

軽症、重症に関わらず、可能な限り早く医療機関での医師の手当てを受ける事が大切です。まずは落ち着き、被害箇所を刺激しないようにし陸にあがります。アルコール類は避けましょう。

◎ 過度に神経質になるのではなく、海洋生物を知る事で自然とのふれ合いを大いに楽しみ素敵な経験をさせていただきたいと心より願っています。